



今月のNEWSな楽譜 & グッズ



☆音楽之友社

○MUSIDOKU(ムジドク)Opus2 アントニー・カーンズ作 500円(税込)
ナンバープレースの名称で親しまれているパズルの音符ヴァージョン第二弾。5段階の難易度、計44題のパズルが収載されているのは前回と同じだが、今作では使用する記号の数が増えて、それぞれのパズルによって、使う9個の記号の組み合わせが違いう設定になっています。

○小さくたってじょうずな手 ピュイグ・ロジェ作曲 1,890円(税込)
フランスの作曲家・ピアニスト・教育家で、日本の音楽教育に多大な貢献をしたアンリエット・ピュイグ・ロジェ、生誕100年記念出版。子供のためのやさしいピアノ曲集。左右の手を対称的に動かす「反進行」で書かれているのが大きな特徴で、合理的に、短期間のうちに効果をあげることができます。

○音楽大学・短大・高校音楽科入試問題集2010年度 音楽之友社編 6,825(税込)
2011年春に全国の音楽大学(教員養成課程音楽専攻を含む)・短大音楽科・音楽高校を受験する高校生および中学生必携の問題集。2010年度入試に出題され、公表された問題を、音楽関係科目を中心に編集・掲載しています。難関校については国語・英語・小論文などの科目についても、一定範囲で掲載。

☆共同音楽出版社

○びあののアトリエ ソルフエージュ①～② 山本英子 各1,050円(税込)
「ピアノのアトリエ」シリーズに視唱と聴音を学ぶためのテキストが登場。1巻では四分音符、二分音符、付点二分音符、全音符と、それぞれと同価の休符を使っの、ト音譜表での視唱とリズム打ち、そして、聴音の基本として単音、重音、ハ長調の4つの和音を聴き分けることを学びます。2巻では新たに八分音符、付点四分音符、タイを使っの、ト長調、ヘ長調、ヘ音譜表をも含む視唱とリズム打ちを学びます。3巻では新たに八分休符、付点八分音符、十六分音符を使っの、8分の6拍子、臨時記号をも含む視唱とリズム打ちを学びます。

☆ドレミ楽譜出版社

○シベリウス・ピアノ名曲集 1,680円(税込)
フィンランドのクラシック音楽史上最大の作曲家、ジャン・シベリウスが残した不朽の名作「フィンランディア」「カレリア」をはじめとし、「モミの木」「3つのソナチネ」をはじめとする珠玉のピアノ名作を厳選。作曲家の生涯と時代背景などについて、そして各曲についての解説を巻頭に掲載しています。

☆カワイ出版

○ピアノとアンサンブル!! アニメ編 壺井一歩編曲 1,470円(税込)
ピアノアレンジばかりではなく、友達とアンサンブルをやってみたい。高価な楽器を持っていなくても、難しい演奏法など知らなくても、アンサンブルの雰囲気味わえたい。そんな子供達や先生のためのアニメ曲によるアンサンブル曲集。発表会に最適です。

☆春秋社

○ツェルニー ピアノ演奏の基礎 カール・ツェルニー著／岡田暁生訳 2,730円(税込)
練習曲で有名なツェルニーの著書。退屈で機械的な訓練? と思いきや、実に音楽的で懇切丁寧、現代のピアニストが忘れがちな基本を思い出させてくれる刺激的な実践書。アーティキュレーション、強弱、テンポの揺らし方、装飾的フレーズの奏法など。岡田暁生氏による詳細な解説つき。

☆全音楽譜出版社

○メロディ・オン・アイス 珠玉のフィギュアスケート名曲集 1,890円(税込)
フィギュアスケートで使われる名曲を集めたピアノ曲集。選手たちの演技をいっそう引き立たせる名曲ばかりが20曲勢揃い! フィギュアスケート注目選手の曲を中心に、演技で使用されている部分がピアノソロに編曲されており、曲の一番魅力的な部分を楽しめます。

☆パンセ・ア・ラ・ミュージック

○楽典THEORY & LESSON 3,360円(税込)
楽典の知識を基礎から学び(THEORY)過去の入試問題で実践力を(LESSON)つけます。入試の様々な出題傾向に充分対応できる実践力を備えるため、実際の楽曲例を用いて、知識の羅列とにならないよう配慮しています。また、CD付でネイティブの発音による楽語を正しく暗記できます。増加するポピュラー・ジャズ分野も掲載。



MUSIDOKU Opus 2
(音楽之友社)



びあののアトリエ
ソルフエージュ①②
(共同音楽出版社)



シベリウス
ピアノ名曲集
(ドレミ楽譜出版社)

第118号 (2011年1月)

『室内楽』でレッスン革命! (上級編)

- 『アンサンブル』は世界をつなぐ架け橋 -

た き やすみ

多喜 靖美 (ピアノ演奏家/指導者)



「音楽は世界共通語」と言いますが、『アンサンブル』は正に音楽で互いの意思を伝えます。「こう弾きたい」という思いを相手に伝え、相手が「どう弾きたいか」をキャッチして1つの音楽を作り上げる『アンサンブル』の体験は、音楽の本質を学べるだけでなく人間関係を円滑なものにします。私も若い頃に初めて受けたスイスの講習会で、ドイツ人、スイス人の弦楽器奏者とブラームスのピアノ四重奏曲を演奏した時に味わった音楽で心が通い合うという感動的な体験が、未だに忘れられません。演奏する側も聴く側も、国や世代を越えて感動を共有できます。楽器を弾ける者が数人集まったら「アンサンブルしよう!」と自然に言える環境になればなんて素敵でしょう。

2009年の夏、私はワシントンDCで行われた『ワシントン国際ピアノフェスティバル』の講師として招待され渡米しました。その帰りにプライベートで立ち寄ったボストンで、偶然『ボストン音楽祭～ユース&ミューズ～』に出会いました。私は若い頃からアンサンブルが大好きで『室内楽啓蒙』をライフワークと考え、国内各地で演奏や指導を長年行っています。『ボストン音楽祭～ユース&ミューズ～』は、ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロなどを学ぶ青少年に、ソロ演奏はモチロンのこと室内楽や協奏曲まで、優秀な指導陣から学ぶチャンスを与えるという、正に理想的な教育プログラムを実施している音楽祭です。

その『ボストン音楽祭～ユース&ミューズ～』を企画運営しているのが日本人指揮者の佐藤洋平氏、チェリストの谷口賢記氏だと知り、帰国後もコンタクトを取り続ける中で、彼らがボストンでの成功を元に日本でもぜひこの教育プログラムでの音楽祭を実施し、1人でも多くの音楽を学ぶ青少年に素晴らしい機会を与えたいと考えていることを知りました。

私は20年ほど前から年に数回ピアノ指導者の為の研修会指導に埼玉県秩父市に通い続けています。豊かな自然に恵まれ地域伝統芸能保存に尽力している秩父こそ全ての面で打ってつけだと考え、この音楽祭の秩父誘致に全面的に協力しました。その甲斐あって、2011年8月『秩父国際音楽祭～ユース&ミューズ～』開催が決定。招聘指導者にはボストン音楽院の協力で各科主任教授を派遣して戴けることになったほか、世界の第一線で活躍している演奏家・教育者、例えばオランダのロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団の首席ヴィオラ奏者やジュリアード音楽院教授など、多数の素晴らしい音楽家が来日して指導にあたって下さることになりました。

言葉を越えた音楽によるコミュニケーション『アンサンブル』。ボストンから秩父に繋げられたこの『アンサンブル』の架け橋は、秩父を経由して日本国内は元より世界各地へ繋がる架け橋となることでしょう。

『秩父国際音楽祭～ユース&ミューズ～』

期間: 2011年8月22日(月)～8月28日(日)

会場: 秩父ミューズパーク音楽堂ほか

フレコンサート開催

2011年1月30日(日) 秩父歴史文化伝承館ホール

出演: 早稲田 桜子(Vn)、谷口賢 記(Vc)、多喜 靖美(Pf)ほか

詳しい情報は...<http://chichibu.youthandmuse.org/>

多喜 靖美 Yasumi Taki

桐朋学園大学卒業。チェコ・フィルやウィーンフィルメンバーその他国内外の著名奏者と共演など室内楽を主に演奏活動続ける。また、門下生から数多くのピアニストを輩出。ドイツ・ザクセン地方独日協会、英国イートンカレッジ、ドイツ・ユーゲントムジツィアットより招聘を受け生徒と共に渡欧し各地でコンサートを行う。ワシントンDCで開かれた「ワシントン国際ピアノフェスティバル2009」の講師に招聘される。大和日英基金、日本クラシック音楽協会優秀指導者賞、(社)全日本ピアノ指導者協会指導者賞、トヨタ指導者賞、特別指導者賞等を受賞。ミュージック・スタジオC特別顧問、(社)日本演奏連盟会員、(社)全日本ピアノ指導者協会評議員、同協会指導者検定委員会オブション企画グループチーフ、メディア委員会委員、ジャスミンKOMAEステーション代表、昭和音楽大学、同短期大学部非常勤講師。ホームページ <http://jasmin-ongakunotakarabako.com/>



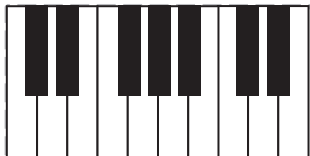
今月のNEWSな楽譜 & グッズ

☆ヤマハミュージックメディア

○ピアノ大全～ピアノの歴史～ 岳本恭治著 3,465円(税込)

ピアノの歴史、構造、ピアニスト紹介などをまとめたピアノの専門書。ピアノの誕生から名器を生み出した製作者達の系譜を紹介。名曲を作った大作曲家とピアノとの関連を年表にして紹介しています。ピアノにまつわる50の興味深い逸話も掲載。





フンメル博士からの アドバイス 助言



新連載

【シリーズ1】 ショパンに導く脱力テクニック 第1回

前回のシリーズ「ピアノ教師でもあった大作作曲家たち」では、バッハからドビュッシーまでの教師像やレッスン時の注意事項を連載しました。本号からはショパン先生のレッスンでの練習方法、演奏法、指導法や教則本について、偉大なピアニストでピアノ教師のルーツの一人でもあったフンメル博士に扮してさらに詳しく解説していきます。とっておきの情報を是非ピアノのレッスンにお役立て下さい。岳本 恭治

■この連載のナビゲーターであるフンメル博士について

「フンメル博士」ことヨハン・ネポムーク・フンメル（1778-1837・スロヴァキア→ドイツ）は、18世紀後半から19世紀前半にかけて活躍した大ピアニスト、ピアノ教師で作曲家です。

ウィーンにて、8歳の時30歳のモーツァルトに師事し、ヨーロッパ各地で神童として名声を博しました。1804年ハイドンの後任としてエステルハーツィ家の宮廷楽長、1811年からウィーンでピアニスト、作曲家として活躍、1816年シュトゥットガルトの宮廷楽長、1819年ワイマールの宮廷楽長を歴任しました。

フンメル博士は、後期ウィーン古典派に属し、モーツァルトから受け継がれた様式とフンメル博士が開発し、ショパンがお手本にした様式の混合が最大の特徴です。

ショパンは「モーツァルト、ベートーヴェンそしてフンメルのような偉大な芸術家」と絶賛し、シューマンはフンメルにピアノを師事するのが夢でした。さらに門下生の一人にメンデルスゾーンがいます。また、1828年に出版した「ピアノ奏法の詳細な理論的・実践的指針」はピアノ・レスナーのバイブルで、古典派から初期ロマン派までのピアノ・テクニックの集大成となっています。

■「ショパンに導く脱力テクニック」を連載するにあたり

ピアノが1700年頃（正確な年は現在まで不明です！）に発明されて以来、100年ほどで一般に普及するようになりました。それに先立ちピアノのレッスンがクレメンティ、モーツァルト、ベートーヴェンをはじめソナチネで知られているドゥシェクやクラーウ。練習曲で有名なクラーマー、モシェレスやチェルニー。ショパンに大きな影響を与えたフンメル、フィールドやカルクブレナー。そしてクララ・シューマンの偉大な父親ヴィークらによって始められ、ショパ

ンの時代を迎えました。楽器としてのピアノも時代の流れに沿って鍵盤のサイズ、鍵盤を押し下げるときに必要な力や鍵盤が元に戻る時指先に感じる抵抗感、鍵盤のあがき（鍵盤の深さ）が改良、変化して現代のピアノの完成となりました。この構造上の違いを避けてピアノ奏法を解説することはできません。そこでショパンのテクニックを中心に、ピアノの改良を説明しながら脱力奏法を習得するための必要なアイテムを紹介していきます。一口に脱力奏法と言っても、イスの座り方や姿勢から、様々なテクニック、そして拍子感や表現法を理解しないと実感できませんのでじっくり、しっかりと解説していきたいと思っています。

次回はどうぞお楽しみに!!



岳本 恭治
(日本J.N.フンメル協会 会長)

information

■好評発売中

「フンメル：ピアノ作品集」

岳本恭治 校訂・解説・運指

税込価格：3,360円

菊倍版136ページ

ヤマハミュージックメディア刊

ベートーヴェンと並んでヨーロッパ最高の作曲家、ピアニストとして讃えられ、シューマンやショパンなど数多くの作曲家に影響を与えたフンメルのピアノ作品集です。初級から上級までの人気作品の他、国内版初公開作品も収載！ピアニストでもあり日本J. N. フンメル協会会長でもある岳本恭治先生による、校訂、運指・解説付き。



岳本 恭治 Kyoji Takemoto

武蔵野音楽大学音楽学部ピアノ科及び国立音楽院ピアノ調律科卒業。ロンドン・トリニティカレッジグレード・ディプロマ取得。NHK=FM等の演奏活動と共にピアノ構造学・改良史・奏法史の研究者としてレクチャー、コンサートを国内外で行う。ムジカノーヴァ誌等に執筆。スロヴァキア国際フンメル協会より「フンメル賞」を受賞。著書「ピアノを読む」、「江戸でピアノを」等多数。現在、日本J.N.フンメル協会会長、国立音楽院講師、スロヴァキア国際フンメル協会名誉会員、全日本ピアノ指導者協会(PTNA)正会員。

岳本恭治先生のブログ...<http://jnhummel.com>



～連載～ ピアノレッスンの今後



♪♪♪ Music Key Lesson レポート ♪♪♪

【岩瀬洋子・田村智子】

今回はミュージックキーの研究会についてお話したいと思います。

全国にいくつかの研究会があり、それぞれ特徴のある形で先生方が勉強されています。どの研究会もステキで内容も楽しく充実していて私たちもぜひ参加させていただきたいな～と思うような研究会ばかりです。

その中で「ミュージックキー認定試験」を研究会として形にしている地域があります。積極的に会としてこの認定試験を研究し、まずはそれぞれがご自身の教室で実施することから始めました。そして試行錯誤を繰り返す中で、親御さんにもご理解を得、生徒たちにも効果が実感できてきたようです。研究会のメンバーの数だけ実例が増えてきます。メンバーの成功例は即他のメンバーの参考例として…そこからまた他のメンバーがアイディアを加え…つまり一人で悩むより皆で…だんだん認定試験参加の生徒さんが増えてきました。そこで研究会として考えました。頑張っている生徒たちを教室内だけで褒めてあげるのではもったいない。同じ意識を持って参加した多くの仲間でお互いに認め褒め合うことで生徒はもっとやる気になるのではないか…そう考えたのです。

そんな思いから「ミュージックキー認定試験合格者によるコンサート」が誕生したのです。日頃のレッスンの延長線上で進めていけるこの試験は生徒にとっても教師にとっても無理なく進めていけるという利点があります。それに加え、何となく目標の持ちにくい日頃のレッスンに、認定試験という目標を掲げることで、生徒の演奏の質を上げることにつながります。また生徒はだんだん合格証の級が上がることに夢中になります。そんな我が子の姿に親も喜ぶのは当然。教室全体が活気づいてきます。そんな生徒たちに表舞台にたって演奏する機会を与えることで、もっと多くの人たちが“頑張る”を認め拍手を送る…そんな時の生徒一人一人の顔は照れながらも堂々と輝いているそうです。参加した生徒に送られる賞状(この会独自のもの)は生徒にとって大切な宝物になることでしょう。

そんな価値あるコンサートがなんとこの12月に第4回目を迎え開催されます。ここまで色々なことがあったと思います。“ピアノやってて良かった！”生徒に心からそう思ってもらいたい…そんな純粋な先生方の思いがあってこそ、ここまでこれたのだと思います。

コンサートの成功を心よりお祈りしています。

講座のご案内

講師：岩瀬洋子

●魅力的なピアノ教室実現のための

「導入指導マスター講座・4つのシリーズ」

今「ピアノのおけいこ」のあり方(練習しない/親子で根気がないなど)に多くのピアノ教師が悩んでいます。そこで現状を踏まえた「魅力的な教師(指導)、教室作り」が今真剣に求められています。この講座はそのために何が必要か、実践できる「指導者としてのテクニック」を学べる、まさに今の時代に求められる講座です。

受講者は[Music Key認定証]を取得できます。

【東京】《リズム編》12/16, 2/3 《テクニック編》3/3, 5/12
《実践編》6/2, 7/7

【会場】東京芸術劇場第5会議室9：50～11：50

【名古屋】《実践編》2011年1/12

●魅力的なピアノ教室実現のための「ディプロマコース」

これは上記講座修了者がさらに深く学習できるよう実践的な内容で進められます。30分のレッスンの具体的な進め方や指導の押さえ所、長期プランなど、具体的に分かりやすく進めていきます。受講者は[Music Key Diploma]を取得。

【広島】2011年 2/9

【姫路】2011年 1/13, 2/10, 4/14 (木曜日)

【池袋】2011年2/4, 3/4

●単発「絶対できる譜読み！！」

【東京表参道】1/14(金)

講師：田村智子

●「導入期だからこそ、生徒に〈わかる〉レッスンを！！」

【大阪梅田】1/21(金)、【埼玉熊谷】2/17(木)

♪ミュージックキーお問い合わせメールは：

musickey@musickey-piano.com

♪ミュージックキーのホームページは：

<http://www.musickey-piano.com/>

株式会社プリマ楽器

〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-8

TEL 03-3866-2221 (業務部) TEL 03-3866-2224 (営業部)

FAX 03-3866-2222

札幌営業所

〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東9-11-50

TEL 011-219-7121 FAX 011-219-7115

名古屋営業所

〒453-0016 愛知県名古屋市中村区黄金通り2-59 プリンセス名駅西1階 1A

TEL 052-486-2630 FAX 052-486-2636

News88のバックナンバーが、プリマ楽器ホームページから
ご覧いただけるようになりました！

閲覧・ダウンロードはこちらから
<http://www.prima-gakki.co.jp/>